

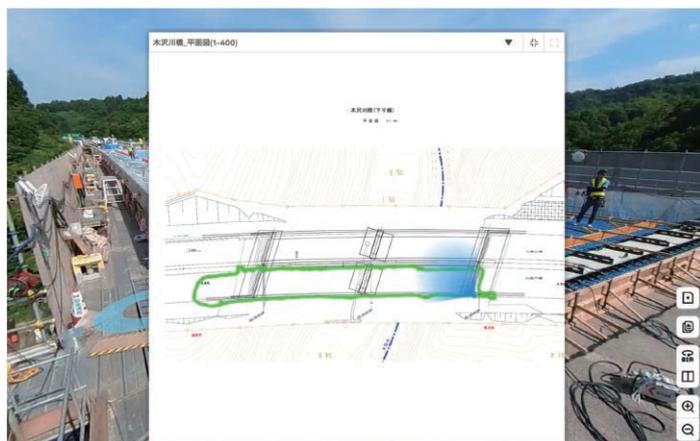
360度カメラと図面を連携して 現場見える化

360度動画から現場ストリートビューを構築

現場調査や現場状況の記録には、360度カメラを使用することができます。このカメラを使って現場を歩きながら動画を撮影すると、図面と紐づけられたストリートビューを作成することができます。また、BIM/CIM連携やレポート作成など、多くの機能を備えたプラットフォームサービスがあります。今後も機能拡張が期待されます。



さまざまな プラットフォームサービス



受発注者一体となった効果検証が進む

現場の生産性向上を目指して、360度カメラの活用が様々な場面で進んでいます。発注者であるNEXCO東日本が主導で現場試行が進められ、関越自動車道木沢川橋床版取替工事でも実施されています。

お問い合わせ 建設本部 土木設計部 CIM推進グループ TEL:03-3575-6126

360度カメラとスマートグラスで現場見える化

遠隔からも現場にいるような臨場感を

遠隔安全パトロールや遠隔立会に、遠隔からの参加者は周囲の状況を配信されている360度映像の見た画面を自由に選べることにより、現場にいるような臨場感を得られます。

スケールの数値など細かいところまで読み取れる「スマートグラス」、騒音下でも確実に音声のやり取りができる「骨伝導イヤホンマイク」を併用することで、より効果的な遠隔安全パトロールや遠隔立会が実現できます。

基本構成

撮影側：360度カメラ、スマートグラス、骨伝導イヤホンマイク

システム：Web会議システム「RICOH Remote Field」

利用者側：PC、スマホ、タブレット

撮影側



Web会議システム



遠隔地側 (パソコンの画面)



お問い合わせ 建設本部建設監理部システム運用監理グループ TEL:03-3575-6122